



報道関係者各位 プレスリリース

2021年10月13日正午12:00 解禁

株式会社阪神コンテンツリンク

ビルボードジャパン、データ起点マーケティング支援サービス
『Artist Watch Plus』を提供開始

株式会社阪神コンテンツリンク（本社：大阪府福島区、代表取締役社長：清水奨、以下阪神コンテンツリンク）のビルボード事業部（ビルボードジャパン）は、株式会社博報堂にリソースを提供し、音楽コンテンツを活用したマーケティング支援サービス『Artist Watch Plus』のサービスの提供を開始します。



artist WATCH Plus

『Artist Watch Plus』は、ビルボードジャパンの提供するチャートデータをもとにしたアーティスト分析に、博報堂・博報堂DYメディアパートナーズが運営するコンテンツビジネスラボのオリジナル調査『コンテンツファン消費行動調査』を掛け合わせ、音楽コンテンツマーケティングに博報堂が得意とする生活者視点を導入したサービスです。音楽コンテンツを活用したい一般企業や音楽ビジネスプレーヤーを対象に、アーティスト、市場、生活者などのデータを起点とする多面的な分析を基にした、今までにない分析レポート作成のほか、アクティベーション企画や協賛イベント選定などのマーケティング支援、コンサルティングサービスを行ってまいります。

<対応領域・サービス>

<p>分析レポートの提供</p>	<p>チャート上昇時に、なぜヒットしたのかがわかる、アーティストヒット分析</p> <ul style="list-style-type: none"> -コンテンツのチャート上昇時の要因分析を行うことで、どのような人たちによって、なぜヒットしたのかがわかる。 -アーティストと相性のよい生活者層を見つけることが可能。 <p>コンテンツやアーティストのファンのプロフィール分析</p> <ul style="list-style-type: none"> -コンテンツに対する意識分析が可能のため、アーティストが生活者にとってどのような心理的存在であるかを把握 -アーティストファン層と相性の良い商品・サービスとのマッチングを分析 -アーティストイメージを損なわないタイアップ企画など情報設計方針策定に活用可能
<p>音楽コンテンツを 活用したい 企業向け (広告主・一般企業)</p> <p>データ起点マーケティング 支援コンサルティング</p>	<p>CMキャスティングに -ターゲットや商材と相性の良い最適なアーティストやコンテンツを提案-</p> <p>例: アーティストAは、ブランドXが獲得したいターゲットである10代女性ファン率が高く、そのファンは対象商材の購入率も高い 等</p> <p>コラボレーション、アクティベーションに -ヒットが予測されるアーティストを提案-</p> <p>例: これからヒットする兆しのあるアーティストAは、対象商材利用者もリスナーに多く、タイアップの相性がよい 等</p> <p>協賛イベントの選定に -ターゲットや商材との相性の良いイベントを提案-</p> <p>例: 協賛可能なイベントリストの中で、ブランドXが狙いたいターゲットの参加が多いと予想されるのはこのイベント 等</p>
<p>音楽ビジネスプレーヤー 向け (レーベル・音楽事務所・ コンテンツ企業等)</p> <p>ビジネスコンサルティング</p>	<p>博報堂D YグループとBillboard JAPANのデータに基づいたマーケティング・ビジネス支援</p> <p>例: Billboardの過去のチャート推移や博報堂の調査データ等を合わせた市場・生活者分析によるマーケティング戦略立案・施策立案</p> <p>レーベルやアーティストの音楽マーケティング・ビジネス支援</p> <p>例: 上記分析を基にしたアーティストの成長戦略立案や、ファン分析・市場分析を基にしたYouTube、SNS等における企画立案・情報設計</p>

<分析の元データ>

・コンテンツファン消費行動調査

『コンテンツファン消費行動調査』は、生活者のコンテンツ消費実態を明らかにする、博報堂・博報堂D Yメディアパートナーズのオリジナル調査。音楽、映画、アニメ、スポーツ、ゲームなど、11のコンテンツカテゴリ横断での分析や、生活者の利用メディア・サービスの視点での分析ができることが特徴。2012年から定期的に実施されている。

(調査の特徴)

- ・コンテンツファン行動を、「興味」「利用」「ファン」「支出」の4行動に分類し把握
- ・「誰が」「何に」「いくら」支出しているかを分析したリアルなデータ
- ・全国7エリアを性年代別人口構成比で割付した調査設計により、市場規模の推計が可能
- ・既存の各業界団体別の出荷/売上データからは把握できなかった支出項目も捕捉
- ・シングルソースデータのためコンテンツのジャンルをまたいだ分析でファン行動が明らかに
- ・どんな機器やサービスを使っているか等のコンテンツ利用環境とのクロスデータも算出可能
- ・コンテンツファン行動だけでなく、意識・価値観や、コンテンツ以外の財・サービス購入・関心も聴取

・ Billboard JAPAN データ

Billboard JAPAN では複数のデータを合算した複合チャートを公表すると共に、それらの元データをグラフ化した分析ツール「CHART insight」を B2B 向けに提供。ダウンロード・ストリーミング・動画再生を始めとして 8 種類のデータ指標からなるデータ解析および全国推定フィジカル売上データを蓄積している「SoundScan JAPAN」によるデータ解析を組み合わせ、アーティストと競合アーティストの各種データ遷移を比較することで、アーティストが生み出すコンテンツの利益を最大化する可能性を提案。

< サービスロゴ >

The logo for "Artist Watch Plus" features the word "artist" in black, "WATCH" in red, and "Plus" in black. A red vertical arrow points upwards from the top of the letter "H" in "WATCH".

【コンテンツビジネスラボとは】

独自調査「コンテンツファン消費行動調査」の知見をもとに、コンテンツを起点とした広告やビジネス設計の支援を行う専門チーム。独自に提唱する「コンテンツファン発火モデル」を用いて、企業やコンテンツホルダーが実施するコンテンツを起点とした広告コミュニケーションの設計支援や、新規事業・サービス展開のマーケティング支援等を行っている。博報堂のマーケティングプランナーとナレッジ開発職員、博報堂DYメディアパートナーズのコンテンツビジネス開発の専門家などで構成されるメンバーは、スポーツ、ドラマ、アニメ、ゲーム、音楽など、さまざまなカテゴリの熱心なファンでもあり、コンテンツに対する豊富な知見と情熱を有している。

【Billboard JAPAN とは】

2008 年より CD シングルセールス、ラジオ放送回数を掛け合わせた総合チャート「JAPAN HOT100」の公表を開始、その後、ダウンロードやストリーミング、動画再生、Twitter など合計 8 種類の異なるデータを掛け合わせた、世界でも類のない網羅性の高い総合音楽チャートとなり、現在では、地上波に留まらず各種メディアで広く取り上げられるヒットチャートとなった。2016 年より、B2B への事業領域拡大を本格化させ、当チャートを構成する各指標データ

の相関を把握することができるマーケティング支援ツール「CHART insight」の提供を開始し、レコード会社、音楽出版社、マネジメント、放送局、広告会社などへの販売を行っている。2019年より、各データを用いてアーティストにフォーカスしたマーケティング支援ツール「Artist Watch」の提供を開始、自社に留まらず他社も含めたアーティストのヒットの要因を解析し、今後のアクションに繋げるソリューションとして広く利用されている。

問い合わせ先

株式会社阪神コンテンツリンク
ビルボード事業部 ビルボード総研グループ
植田匠人 E-mail : ueda.t@hcl-c.com